

地域おこし支援隊

対談！ 渡部×戸井田×齊藤

戸井田：わたちゃん（渡部）は今年から一軒家で若者交流会を開いてるそうですね。出足はどうなんですか？

渡部：そうですね。月1ほど「若者飲み」にケーシヨン会を自宅一階で開催してらんですが、協力隊と若い移住者のいつも同じメンバーになってますね。ぜひぜひ高山の若い方にも気軽に遊びに来ていただいて、交流・討論させていただきたいです!!お気軽にご連絡ください！（宣伝）

渡部：しばちゃん（齊藤）は定住が決まった訳ですが、どんな心境ですか？

齊藤：いつかこんな田舎に住んでみたいって思ってたけれど、暮らすことが出来て夢が叶った感じがかな！

戸井田：縁ですねえ。

戸井田と渡部は赤い糸が切れた状態ですが（笑）

一同失笑

渡部：ですね（苦笑）

でも高山で「お母さん」「お父さん」と呼べる人、生涯の親友も得ました。いろんな意味での赤い糸を感じていますね。

戸井田：高山の人ってあったかいですね。

齊藤・渡部：うんうん。陽気で世話好き。

戸井田：なんてゆうんだろう、どんな私でも受け入れてくれる？

齊藤：面倒見がいいよね。「どんな私でも受け入れてくれる高山村。」いいキャッチ「ピーだね。」



齊藤 瑞代
（福岡市出身・本宿在住）

渡部：ふたりの、高山で一番好きな場所ってどこですか？

齊藤：牧場の展望台！

戸井田：後藤治音楽スタジオ！

渡部：どうどう測。

全員分かれましたね。しかも即答（笑）

「あなたにできる地域活性化とは？」

渡部：まずは村の中から盛り上がる仕組みを作ること。村内が盛り上がりつつない状態で村外観光客向けの観光を考えるのは空同感があると思います。真新しい観光資源で日本の田舎がどんどん観光地化されていくのには抵抗を感じます。微力ながらも既にある伝統文化を継続させていくことへの手助けをしたいと思っています。私自身高山の伝統芸能を見て、参加して、忘れられない感動を得ました。

戸井田：道の駅を中心にイベント企画やPOP作成などに力を入れていき、お客様を増やす仕組み作りをしたいと思います。

「現場をよく知る」とは高山を、そして群馬県を活性化させることに繋がると思っています。

齊藤：いろんな地域行事に参加し、地域の人を知って、皆さんから元気をもらって、そのパワーを倍にして地域を元気にしたいです！



戸井田裕希
（館林市出身・判形在住）



渡部美智子
（新潟県出身・判形在住）